



ドッジボールなどのレクリエーションを楽しむ生徒たち

笑顔広がる国際交流

ラットランド市中学生が来花

国際姉妹都市、米国ラットランド市の中学生など8人が6月20日から26日までの7日間、本市を訪れ、日本文化に理解を深めました。22日に訪問した石鳥谷中学校では、歓迎セレモニーに出席したほか、茶道や給食などを体験。メガン・エリザベス・オカナーさん（14歳）は「おもてなしなどを通して、生徒や市民の優しさを感じた。素晴らしい経験になった」と笑顔を見せました。

ことしはラットランド市と旧石鳥谷町が国際姉妹都市提携を結んでから30年の節目を迎えます。

夏の夜を彩る宵宮が開幕

藤木大明神宵宮祭

花巻の夏の風物詩、はなまき宵宮が、7月1日の藤木大明神宵宮祭「銀河の星まつり」を皮切りにスタートしました。

天候に恵まれたことし、花巻駅前の多目的広場には開始直後から多くの家族連れや学生、会社員などが来場。金魚すくいや露店での買い物など、思い思いに祭りを楽しんでいます。

花巻駅前振興会の千葉龍喜会長は「人が集うことでにぎわいが生まれ、地域の活性化につながる。この宵宮が、夏の楽しい思い出になってくれれば」と話していました。



金魚すくいを楽しむ子どもたち

花巻地方の神楽衆が競演

第35回みちのく神楽大会

「第35回みちのく神楽大会」が6月26日、大迫交流活性化センターで開かれました。

市教育委員会と花巻地方神楽協会が、古里の魅力発信と郷土芸能の伝承を目的に毎年開催。ことしは花巻・北上両市の神楽衆13団体が出演し、地域で受け継がれてきた伝統の舞を披露しました。

迫力ある舞や繊細な舞など、神楽衆それぞれに個性があり、中には舞い手が客席を動き回り子どもたちを驚かさず場面も。全14演目が上演され、会場は大きな拍手に包まれていました。



「三韓の舞」を披露する上根子神楽の皆さん



東日本大震災復興の架け橋

2016 希望郷 いわて国体・希望郷 いわて大会

第71回国民体育大会 第16回全国障害者スポーツ大会 広げよう 感動。伝えよう 感謝。

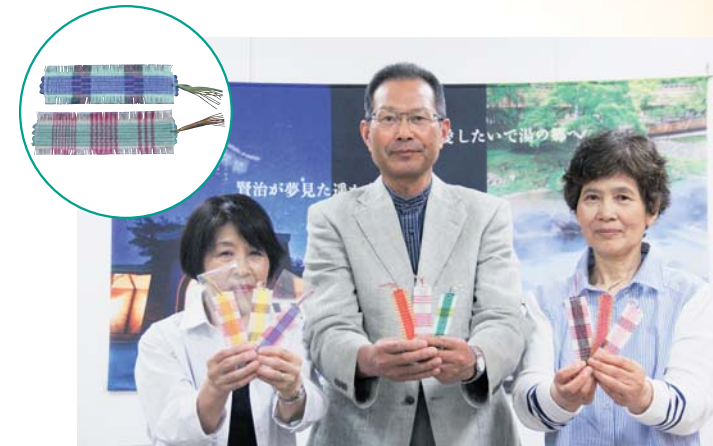


さき織の「しおり」をご協賛いただきました

石鳥谷はたおり同好会の皆さんから、さき織で作られたしおり900枚を協賛品としていただきました。

はた織で国体を盛り上げようとの思いでしおりを作製。同会会長の玉山さんは「花巻での思い出にしてもらい、また花巻に来たいと思ってもらえるきっかけになれば」と話していました。

このしおりは10月2日から開かれる希望郷いわて国体ソフトボール競技などで、石鳥谷を訪れる選手や監督の皆さんに記念品としてお渡しします。



▲石鳥谷はたおり同好会の皆さん

各種リハーサル大会が開催されました

▶高等学校野球(硬式)競技リハーサル大会

第63回春季東北地区高等学校野球大会が6月9日から11日にかけて、花巻球場で開催。高校球児たちの爽やかなプレーで、会場は盛り上がりしていました。

この大会は10月2日・3日に開催される希望郷いわて国体高等学校野球(硬式)競技のリハーサル大会として実施。国体を想定した内容で運営され、スタッフの皆さんは本番に向けて、手順を確認しながら従事していました。



①国体に向けて動線などを確認するスタッフ②若葉小2年生も応援に駆けつけました

▶希望郷いわて大会リハーサル大会

6月12日、第16回全国障害者スポーツ大会「希望郷いわて大会」のリハーサル大会が開催されました。

総合体育館ではバレーボール競技(身体・知的・精神)を、石鳥谷ふれあい運動公園ではソフトボール競技(知的)とフットベースボール競技(知的)を開催。北海道・東北ブロックから集まった選手たちが、10月22日から24日にかけて行われる希望郷いわて大会に向け、熱戦を繰り広げました。

同リハーサル大会には手話や要約筆記など、選手たちをサポートするための「情報支援ボランティア」

の皆さんも参加。会場案内や試合運営、おもてなしなどの場面で活躍していました。



①開会式に臨む選手の皆さん②ボランティアの皆さんも希望郷いわて大会に向けて、真剣に取り組んでいました

【問い合わせ】 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会花巻市実行委員会事務局
(石鳥谷総合支所庁舎3階、国体推進課内 ☎45-2111 内線410・420)
ホームページ <http://hanamaki-sports.com/kokutai/>

